



ブルカーナノ表面計測事業部 主催

名古屋開催 ワークショップのご案内

お客様各位

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたび当社では 最新の表面計測及び、機械物性計測機器を一堂に集め、下記の日程でワークショップを催すことになりました。

当日は、アプリケーションサイエンティストの実演により製品の機能や性能をじっくりとご覧いただけるよう企画いたしておりますので、ご多忙のこととは存じますが、ぜひご来場賜りますようお願い申し上げます。

敬具

ブルカージャパン（株）ナノ表面計測事業部
事業部長 相川 重夫

記

- 開催日：
 - ・ 2018年7月26日（木） 10:00～16:00（予定）
 - ・ 2018年7月27日（金） 10:00～16:00（予定）（各日同様のプログラムとなります。参加費：無料）
- 開催場所：ウインクあいち 愛知県産業労働センター 1309 会議室
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38（名古屋駅下車徒歩5～6分）
- 内容：製品概要・特徴・事例などのご説明と実機を用いたデモンストレーション
- 製品：
 1. 光学式非接触三次元測定機（焦点移動法）： ContourLS K
 2. ハイジロンナノインデンテーションシステム： TriboIndenter
 3. 多機能摩擦摩耗試験機： UMT-TriboLab

- お申込み：
下記申込フォームかメールにてお申込み下さい。
<http://bit.ly/2Ly6IJA>



▲申込フォーム QRコード

メール： info-nano.bns.jp@bruker.com
電話： 03-3523-6361

※ メールでお申込みの場合、タイトルに「名古屋WS申し込み」と明記いただき下記項目をご記入ください

- ・勤務先名・ご所属部署・お名前・メールアドレス
- ・ご住所・TEL・ご興味のある製品・参加日7/26 or 7/27



ウインクあいち アクセス

- プログラム：
 - 10:00～10:15 開会のご挨拶
 - 10:15～12:30 製品プレゼンテーション ブルカージャパン（株）ナノ表面計測事業部 各製品45分
 - 12:30～13:30 昼食
 - 13:30～15:00 装置デモンストレーション ① 各製品30分
 - 15:00～15:15 休憩
 - 15:15～16:00 装置デモンストレーション ②

1. デモ①は参加人数によってグループに分けて対応させて頂く予定です。2. デモ②ではご興味のある製品だけを見て頂ける時間としています。3. 個別のご質問等ある方はワークショップ終了後に対応致します。4. 当日のプログラムは予告なく変更する可能性がありますこと予めご了承ください。

製品のご紹介

光学式非接触三次元測定器（全焦点移動法） ContourLS K



LightSpeed™ Focus Variation

高度なアルゴリズムによる最適化されたフォーカシング技術 LightSpeed™ 焦点移動技術を使用して高速度で表面形状を正確に収集。高解像度なリアルカラーによりモニターに表示。自社開発Vision64ソフトウェアを基礎に基づいて構築された、データ処理、分析、および視覚・定量化のための独自のソフトウェアアルゴリズムが特長な産業向けシステムです。

- 業界をリードする超高速測定 5mm/秒
- 業界最高レベルの広域測定 8x6mm
- 最大数2000枚ステッチングにも対応
- 着脱が簡単なリング照明ホルダー標準装備
- 世界中の評価規格に対応 Vision Map

多機能 摩擦摩耗試験装置 UMT-TriboLab



最新世代のUMTは、多種多様なモジュール方式で設計されており、汎用性が高く、選択する構成によって、一台のプラットフォームでいくつもの異なる摩擦・摩耗試験が可能なメカニカル・トライボロジータスターです。

- JASOM348及び、SAENo.2規格のクラッチ材評価、ASTMD6425などの潤滑油高速振動試験（SRV試験）、JASOM358 ベルト式CVT油の金属間摩擦係数特性試験、SAEJ2522(AKMaster) のブレーキパッド試験など、自動車分野に特化した様々なアプリケーションに対応。
- ノイズレベルをフルスケールの0.02%に低減させた11種類のフリクションロードセンサー
- AEセンサーによる材料の破壊検出やECRセンサーによる摺動中の通電状態など測定が可能



リニアドライブ



高速往復ドライブ



ロータリッドライブ

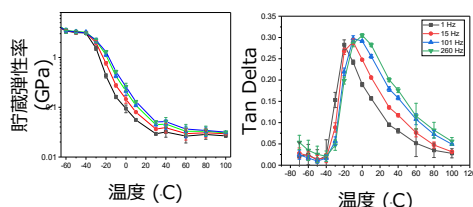


ブロックオンリングドライブ

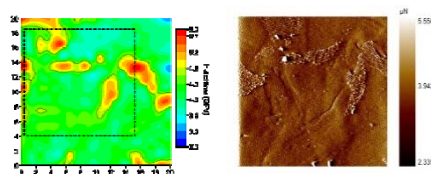
ハイジトロンナインデンテーションシステム TriboIndenter

特許技術の静電駆動トランスデューサによる低荷重測定、ピエゾスキャナによる押し込み圧子を使った走査プローブ顕微鏡モードなどから、トライボインデーターは最先端の有機材料、生体材料、複合材料などの力学特性評価を行う装置として注目されています。

- 動的測定による深さプロファイル測定（CMXモード）や周波数依存性測定（0.1～300Hz）など粘弾性測定。
- xSol環境制御ステージにより加熱や冷却・湿度制御が可能。（粘弾性温度依存性）
- XPM高速インデンテーションにより高いスループットを実現。
- 走査プローブモードでは押し込み圧子を用いた表面形状像の観察と業界最高精度での局所箇所的位置決めが可能。



架橋されたアモルファスポリマーの転移



1018スチールの0°C冷却時の面内分布